



**上越市の観光マイナード
を上げていこう！**
ストラットン恵美子（みらい）



問／上越市観光交流ビジョンに基づくアクシヨンプログラムの進捗状況と今後の進め方は。

答／コロナ禍で予定どおりにはならなかったが、ビジョンの趣旨と実践の普及に取り組んでいく。

問／小木直江津航路へのジェットフォイル導入の方向性を踏まえた観光施策の転換はあるのか。

答／小木直江津航路を利用してもらうために、春の大型連休や夏休み期間にえちごトキめき鉄道のリゾート列車「雪月花」、高田城址公園のハスと結びつけるなど、関係機関や周辺市と連携した旅行コースなど業者への営業を展開する。

問／市ホームページやSNSなど、閲覧数や検索解析などをどのように分析しているか。

答／「上越観光Navi」が一番多く見られたページは春日山城跡で、伸び率が高かったページはキャンプ場であった。インスタグラムのフォロワーの多くが市内居住者の傾向がある。


小・中学校における英語教育の活性化策を

問／英検などの受験料の一部を助成する制度を創設してはどうか。


答／日常の英語授業の充実が肝要であり、制度創設は考えていない。

問／中学生と小学5・6年生を対象とした英語スピーチコンテストを開催してはどうか。

答／学校教育の現場では実施が極めて難しい。

**コロナ禍の財政健全化・
財源確保の見通しは**
石田 裕一（みらい）



問／新型コロナウイルス感染症の影響による来年度の税収の減少見込みはどうか。減収分の自主財源の確保及び財政健全化にどう取り組むか。

答／個人市民税、法人市民税は大幅な減少を見込む。今後積算の精度を高め、令和3年度の歳入予算に計上する。市内経済の動向を注視しつつ、行政改革推進計画に基づく取組を推進する。

問／温浴施設等の公共施設を運営する指定管理者への減収補てんは、令和3年度以降も継続するのか。

答／感染症の動向と指定管理施設の運営状況を考慮し、指定管理者と協議の上、方向性を検討する。

問／新年度予算では、収支バランスが一層崩れると予想されるが、行財政改革及び収支均衡を図るための取組はどうか。

答／第4次公の施設の適正配置計画の策定を関係者の理解を得ながら進めるとともに、押印廃止やICTの活用に向けた環境整備に着手した。



問／コロナ禍で中止を決定した事業やイベント等について、事業費の減額補正をしない理由と財源の今後の取扱いについて聞きたい。

答／イベント等の中止により執行残額が見込まれるが、事業者応援給付金などが当初見込みを上回り、中止したイベント等の補助金を流用し対応したため、財源に余裕がある状況ではない。



**金谷山シャランツエ跡地
にモニユメントを**
こんどう 彰治（市民クラブ）



問／当時、東洋一と言われた金谷山シャランツエ跡地に、記憶に残るモニユメントを残せないか。

答／日本スキー発祥記念館に様々な資料があり、設置は考えていない。

都市計画道路及び市道などの整備は

問／都市計画道路「飯寺町線」の未整備区間の整備の見通しについて聞きたい。

答／早期の事業化は極めて難しいと考えている。

問／市道「表寺線」通学路の除雪対応はどうか。

答／車道の拡幅除雪などで対応し、必要に応じ排雪作業で、安全な歩行者空間を確保に努める。

問／市道「西小学校東通線」西側の側溝整備は。

答／東側の外側線を車道側に約30cm移設し、約1.5mの歩行空間を確保する。来年度の「上越市通学路安全対策プログラム」の取組の中で通学路合同点検や検討会議を実施し進めたい。

儀明川 改修を含めた安全対策は

問／台風時等で越水が幾度となく見受けられる。嵩上げ工事をするということだが、いまだ改修されていない。県との協議はどうなっているか。

答／県は、線形の修正をしながら護岸の造り直しを視野に入れた実施設計を進めている。抜本的な治水安全度の向上には、ダム建設が不可欠であり、国・県に早期の本体工事を要望したい。

